



公益財団法人 日本スポーツ協会公認
茨城県スポーツ指導者協議会

会 報

第 81 号

令和 2 年 9 月 15 日

発行人

茨城県スポーツ指導者協議会

会 長 照 沼 一 美

事務局 〒 306-0204

古河市下大野 1463-4

事務局長 鈴 木 義 夫

TEL・FAX 0280-92-4555

会員数 1,427 名 (R2.9.15 現在)



全県研修会（令和2年8月2日（日） 水戸市・JA グループ茨城教育センター）

公益財団法人 日本スポーツ協会公認
スポーツ指導者のために

資質向上と
活動の推進を

連帯感を深め
組織的活動を

目 次

会長あいさつ	2
茨城県体育協会あいさつ	2・3
顧問あいさつ	3
総務副委員長あいさつ	3
研修副委員長あいさつ	4
茨城県スポーツ指導者協議会功労賞受賞者あいさつ	4
平成 31 年度（令和元年度）収支決算報告書	5
令和 2 年度収支予算書	5
令和 2 年度協議会事業計画書	6
支部だより	7～9
みんなの広場	9
事務局便り	10

会長あいさつ



会長

照沼 一美

スポーツ指導者協議会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のうえ、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

令和二年度は思いもよらぬ事態の中で始まりました。令和二年度事業実施に当たり、会員の皆様と共に本協議会の事業実施が順調に進みますことに願いを込め、ごあいさつ申し上げます。

令和二年度本協議会総会は令和二年四月二十九日開催の準備をして参りましたが、突然に国内に湧き上がった新型コロナウイルスの影響により感染防止を考慮し代議員による書面議決方法により決議させていただきました。このような総会実施は本会発足以来初めてのことでありましたが、事務局が中心となり役員の皆様のご意見を頂き実施したものであります。報告議案並びに新年度の事業に関する協議議案は代議員の皆様のご理解のうえ協議し承認されました。

新年度早々に事業実施の予定を計画してまいりましたが、新型コロナウイルスの感染状況が著しく増加し公

共施設の利用も制限され、会議や集会等を自粛せざるを得なくなりました。その様な中、例年会員の皆様への還元事業としての資格更新に伴う研修会の実施に向け努力してまいりましたが、各種の制限等を鑑み定員を半減させての研修会実施としました。会員の皆様におかれましては、これらの諸事情をご理解いただき、研修会参加の際には過分なご協力をお願い申し上げます。なお今後、各支部毎の研修会も暫時、それぞれの支部長の裁量により実施されます。会員の皆様におかれましては、本年度の研修会等の最新情報を取得され、積極的に研鑽されますようご期待いたしております。あわせてそれぞれの支部へのご協力を賜りますようお願いいたします。

公認の有資格者であるスポーツ等の指導者は、次元の高いより良い指導者として指導方法を研鑽され、理想の指導者への道を歩まれますようご期待申し上げます。

末尾であります但公益財団法人日本スポーツ協会の発信する最新情報に注目され、新指導体制に対し万全の対応をされますようお願い申し上げます。



茨城県体育協会あいさつ



体育協会事業課長

石川 洋

四月から県体育協会本部に赴任してまいりました。つきましては、本協議会の一員として関わらせていただきます。微力ではございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

現下、新型コロナウイルスの影響により、さまざまな活動や各種大会開催に制限を受け、選手をはじめ関係者の皆様のやり切れない思いに胸が痛みます。一刻も早く、選手・関係者が安心して練習や大会を実施できることを願うところでです。

さて、本協議会につきましましては、本県スポーツ振興の根幹であるスポーツ指導者の育成に尽力されております。有資格者としてスポーツに関する最新の知識・情報を提供し、それぞれの地域スポーツの中核として、ご活躍いただいているところでございます。

併せて、指導者相互の情報交換やネットワーク作りなど、幅広い交流に大きく関わっていただいております。また、スポーツ界の不祥事(暴力・暴言、ハラスメント

等)が急増しており、指導者の高潔性が求められています。特に、「ガバナンス」「コンプライアンス」など、更にはその中にはモラルも求められるなど、指導者に求められるものは、これからも多岐にわたります。

さて、今年開催予定の国民体育大会や東京オリンピック・パラリンピックが来年以降に延期され、ウィズコロナ、アフターコロナとして新しい日常生活が当たり前となり、あらゆる場面において「密閉・密集・密接」いわゆる三密をかけた配慮・取り組みが求められることとなります。

このような中、プロ・アマチュアスポーツを取り巻く環境は大きく変わろうとしております。これからのスポーツ界を担う皆さまには、常に先進的であり、柔軟な考え方を持ち続け、時代の変化に対応できる協議会として、ご活躍いただきますようお願い申し上げます。あいさつとさせていただきます。



体育協会指導主事

中口 直仁

今年度よりスポーツ指導者協議会を担当させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

私は二年前まで、学校現場にお

いてバレーボールの指導に日々奮闘しておりました。最初に赴任した学校で顧問となり、それまで競技経験がなかった私は、先輩指導者のもとで「バレーボール」について、一から教えていただいた記憶があります。それからというもの、生徒とともに練習を重ね、ひたすらボールを打ち続けてきました。そのようななか、私自身の手で少しでも選手の競技力を高めることができないものかとの思いがつり、公認スポーツ指導者の資格取得に向けて取り組み始めました。これを機に、指導者としての勉強ができたことは、私にとって大変よい経験となりました。

また私と同じ目的を持った多くの方々との出会い、ともに研鑽を積み重ねてきたことは、今となっては私の財産となりました。当然ながら資格を持っているから良いということではありませんので、これからも選手や他の指導者からの刺激を受け、私自身もより成長していかなければならないと感じております。今後もこの気持ちを持ち続け、スポーツの価値や未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンタードの考えのもと常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援できればと考えております。

今年度は、新型コロナウイルス

感染症の影響で、各種研修会をはじめスポーツ活動全般の中止を余儀なくされております。公認スポーツ指導者の皆様におかれましても、歯がゆい思いをされていることとお察しいたします。一日でも早く活動が再開され、元の生活の中で思う存分、スポーツ活動ができることを願うばかりです。生活様式が変わる中で、スポーツ指導においても大きな変換期を迎えております。皆様方におかれましては、そのような変化にも柔軟に対応していただき、より良いスポーツ指導が継続できますようよろしくお願いいたします。

顧問 あいさつ



城里町

大 畠 宗 夫

本年度も、県体育協会と連携を図りながら、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者育成事業が行なわれています。

スポーツ指導者協議会は、本部を中心に各地区支部が独自に企画運営をする地域特性を活かせる活動をしています。

活動の主な内容は、資格を更新する為の研修会を開催し、県内公認スポーツ指導者の交流と情報の

共有を行っています。また、運営の充実を目的に会員加入への取り組みを研修会現地でその都度広報誌を配布し、関心を持っていたべくよう対面による募集を行っています。各種スポーツ指導者で組織する指導者協議会は、ゆっくりではあります。本部と各地区支部及び各競技団体により地域スポーツ活動の場を広められるよう事業を進めております。昨年は二巡目国体の開催となり県内各地から熱い声援の様子が報道されました。身近に国民体育大会の実験を体験でき、スポーツ活動に参加しやすい環境が広がるきっかけとなったことと思います。

只今、日本スポーツ協会は、多くの指導者に情報提供方法として公式SNSを開設されています。が、猛威をふるう感染症により、様々な影響が出ている中、生活様式も変化し、オンライン等が急速に進展し、各地での研修会状況の情報も手元で分かるようになりました。これには、情報を手に入れる環境がないと差が出てしまう心配があります。その様な事を考えると指導者協議会のできるこの一端として、各種指導者の方々、様々な形で無理なく参加される研修事業を県体育協会と一体となり参加型の情報提供を行える環境づくりを考えます。

今後も、公認指導者の多くの方が地域の活動に参加されるよう、協議会普及事業に微力ながらかわらせていただければと思います。

総務副委員長 あいさつ



常陸大宮市

和 田 弘 行

このたび総務副委員長を拝命し新たな任務に対する責任を痛感しております。先輩諸賢のご指導をいただきながら微力を尽くしたいと存じますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。

昨年開催された「いきいき茨城ゆめ国体」(第七十四回国民体育大会)から、本来は、今年開催のオリンピック・パラリンピックへと一直線にスポーツの祭典が盛り上がるところでした。

ご案内のように世界中に蔓延している新型コロナウイルスは、仕事や日常生活、公的、私的を問わずすべての営みにわたって、以前の様相を一変させております。スポーツ界が例のない甚大なダメージを受けていることは改めて言うまでもありません。オリンピック

ク・パラリンピックの開催延期を初めプロ・アマの全ての種目にわたって開催や観戦に大きな制限が加えられております。

スポーツ指導者の資質向上と県民スポーツ振興を目的に据える本協議会にとっても、新型コロナウイルス禍がもたらす影響は計り知れないのではないかと恐れております。終息の見通しが立たない現在、会議や研修の在り方もこれまでにない工夫が求められるなど、本協議会の活動もすべてに亘ってかつてない大きな試練に直面することが考えられます。歴史のある本協議会の活動を振り返って先人から学ぶとともに、みんなで知恵を絞って、厳しい条件下にあっても活動が続けられるよう力を合わせて行きたいと思っております。

どんな時代でもスポーツがないがしろにされたことはありません。スポーツは常に必要とされてきました。少子高齢化と、少子と高齢化を同列に問題視することには違和感がありますが、子供、高齢者それぞれに、スポーツ、そしてその指導者が求められていることはむしろ時代の要請といえます。この機会に本協議会の果たすべき役割を改めて自覚したいと思っております。



研修副委員長あいさつ



石岡市

渡辺 吉光

スポーツには沢山の種目がありますが、皆様におかれましてはご健勝のうえ、ご指導にご活躍のこととお慶び申し上げます。年明けからのコロナウイルスにご苦悩されていることと思います。お気持ちを察し申し上げます。

この度、茨城県スポーツ指導者協議会研修副委員長となりましたのでご挨拶申し上げます。

私が指導員の資格を取得したのは平成五年ソフトボールの種目です。当協議会と出会ったのは平成二十四年県南支部の地区研修会のお手伝いをして欲しいと依頼された時でした。そして翌年に茨城県スポーツ指導者協議会の理事、研修委員として全県研修会に参画するようにになりました。当協議会の研修会は年四回、全県と各地区の持ち回りで行われています。いずれの研修会もどの種目にも共通してコーチングに応用できる必要な、また、参考となる内容が沢山盛り込まれています。

更新研修は四年に一度（正確には三年と半年、また、種目によつ

て年数が異なります）となっておりませんが、時間と都合がよろしければ、研修会のはしごで指導力向上を図られてはどうでしょうか。今年はコロナウイルス禍で研修会場の変更、参加人数の制約と何かとご不便をおかけして誠に申し訳ございません。

これからも当協議会の一員として研修の資質向上を図り、充実した盛り沢山の情報提供ができるよう尽力してまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

茨城県スポーツ指導者協議会 スポーツ指導者功労賞

受賞者あいさつ



県西支部（筑西市）

吉沢 匡美

この度、令和二年度茨城県スポーツ指導者協議会功労賞を賜りまして、大変名誉の事と感謝申し上げます。また、推薦を戴きました県西支部及び関係各位の皆様や活動を共にしてきた方々のご尽力のたまものと感謝申し上げます。

私がスポーツ少年団に関わったのは、高校を卒業後、地元企業の就職し、社会人として働きたし

た頃、中学校の部活動の恩師だった先生から、一緒に地域の子供たちに剣道の指導をやるうじやないかと声をかけていただき、少年団での指導が始まり四十二年が経過しました。

最初は、子供たちとどのように接したらよいかわ戸惑いがありましたが、周りの方々からアドバイスを受けながら夢中に取り組んできました。気がつくと、子供たちの成長に驚くとともに、指導の大切さ、面白さを教えられました。その後、先輩たちを巻き込み、楽しくスポーツのできる環境作りをしてきました。今では、教えていた子供たちが少年団の指導者として戻ってきてくれ、地域を支えてくれる頼もしい存在となったことを嬉しく思います。

これからも、地域の中で楽しくスポーツができる環境作りとお手伝いを仲間と一緒に進めていければと思っています。

今後とも皆様方のご指導を賜りますよう、宜しくお願い致します。

みなさん

ホームページ

をもっと活用

しましょう！



<http://www.ibaraki-sports.or.jp/>

平成 31 年度(令和元年) 収支決算報告書(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

収入の部

(単位: 円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備 考
1. 会 費	1,200,000	1,480,000	280,000	4,000 円× 370 名
2. 助 成 金	200,000	200,000	0	公益財団法人茨城県体育協会 (令和元年度)
3. 繰 越 金	325,619	325,101	△ 518	前年度繰越金 (30 年度)
4. 雑 収 入	14,381	14,847	466	利息・返金・広告料
合 計	1,740,000	2,019,948	279,948	

支出の部

(単位: 円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備 考
1. 会 議 費	185,000	117,437	△ 67,563	
総 任 理 事 会	25,000	20,475	△ 4,525	切手・事務品・会場使用料・飲料
常 務 事 務 員 会	20,000	25,342	5,342	切手・事務品・会場使用料・飲料
理 事 事 務 員 会	20,000	20,651	651	切手・事務品・会場使用料・飲料
総 務 委 員 会	20,000	8,391	△ 11,609	切手・事務品・会場使用料・飲料・手当
研 修 委 員 会	50,000	22,566	△ 27,434	切手・事務品・会場使用料・飲料・手当
広 報 委 員 会	50,000	20,012	△ 29,988	切手・事務品・会場使用料・飲料・手当
2. 事 務 費	520,000	515,211	△ 4,789	
旅 費	100,000	109,000	9,000	各種会議等
役 務 費	50,000	50,000	0	会長・事務局長
消 耗 品 費	85,000	105,844	20,844	コピー紙・ラベル・インク・事務用品等
食 料 費	20,000	14,951	△ 5,049	監査・事務局
印 刷 コ ピ ー 費	60,000	83,692	23,692	封筒印刷・カード印刷
通 信 費	130,000	98,948	△ 31,052	切手・ゆうパック
備 品 費	40,000	52,776	12,776	プリンター・附属品・メモリー等
3. 事 業 費	520,000	501,106	△ 18,894	
会 報 印 刷 費	170,000	163,200	△ 6,800	会報第 79 号・第 80 号印刷
会 報 発 送 費	240,000	236,390	△ 3,610	会報第 79 号・第 80 号郵送
研 修 会 費	40,000	42,208	2,208	研修会 (全県研修・地区研修) 諸経費
派 遣 費	70,000	59,308	△ 10,692	関東ブロック会議派遣・研修会派遣
4. 支 部 活 動 費	405,000	375,000	△ 30,000	
県 北 活 動 費	60,000	60,000	0	県北更新研修・支部会報
水 戸 活 動 費	50,000	30,000	△ 20,000	
中 央 活 動 費	100,000	100,000	0	中央地区研修・支部更新研修・普通救命講習
鹿 行 活 動 費	85,000	85,000	0	鹿行地区研修・支部研修・鹿行支部便り
県 南 活 動 費	40,000	40,000	0	県南支部便り
県 西 活 動 費	70,000	60,000	△ 10,000	県西支部研修
5. 負 担 金	10,000	10,000	0	関東ブロックスポーツ指導者協議会
6. 雑 費	50,000	88,540	38,540	手数料・発送作業・その他等
7. 予 備 費	50,000	0	△ 50,000	
合 計	1,740,000	1,607,294	△ 132,706	

収入合計 2,019,948 円
支出合計 1,607,294 円
差引残金 412,654 円

※上記のとおりご報告いたします。
なお、差引き残金は令和 2 年度本協議会収支予算書に繰り越いたします。

令和 2 年度 収支予算書 (令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)

収入の部

(単位: 円)

項 目	本年度予算額	前年度決算額	比較増減	備 考
1. 会 費	1,200,000	1,240,000	0	4,000 円× 300 名
2. 助 成 金	200,000	200,000	0	公益財団法人茨城県体育協会 (令和 2 年度)
3. 繰 越 金	412,654	325,619	87,035	前年度繰越金 (令和元年度)
4. 雑 収 入	27,346	14,381	12,965	利息・返金・広告料
合 計	1,840,000	1,740,000	100,000	

支出の部

(単位: 円)

項 目	本年度予算額	前年度決算額	比較増減	備 考
1. 会 議 費	190,000	185,000	5,000	
総 任 理 事 会	35,000	25,000	10,000	切手・事務品・会場使用料・飲料
常 務 事 務 員 会	30,000	20,000	10,000	切手・事務品・会場使用料・飲料
理 事 事 務 員 会	25,000	20,000	5,000	切手・事務品・会場使用料・飲料
総 務 委 員 会	20,000	20,000	0	切手・事務品・飲料・手当
研 修 委 員 会	40,000	50,000	△ 10,000	切手・事務品・飲料・手当
広 報 委 員 会	40,000	50,000	△ 10,000	切手・事務品・飲料・手当
2. 事 務 費	560,000	520,000	40,000	
旅 費	130,000	100,000	30,000	各種会議・会場手続き等
役 務 費	50,000	50,000	0	会長・事務局長
消 耗 品 費	120,000	120,000	0	事務品・コピー紙・ラベル・インク・トナー等
食 料 費	20,000	20,000	0	監査・事務局・委員会
印 刷 コ ピ ー 費	80,000	60,000	20,000	封筒印刷・カード印刷
通 信 費	120,000	130,000	△ 10,000	切手・ゆうパック
備 品 費	40,000	40,000	0	ソフト・メモリー・附属品・ゴム印等
3. 事 業 費	540,000	520,000	20,000	
会 報 印 刷 費	180,000	170,000	10,000	会報第 81 号・第 82 号印刷
会 報 発 送 費	240,000	240,000	0	会報第 81 号・第 82 号郵送
研 修 会 費	50,000	40,000	10,000	研修会 (全県研修・地区研修) 諸経費
派 遣 費	70,000	70,000	0	研修会派遣・関東ブロック会議派遣
4. 支 部 活 動 費	370,000	405,000	△ 35,000	
県 北 活 動 費	85,000	60,000	25,000	県北地区研修・支部実務研修・支部会報
水 戸 活 動 費	60,000	50,000	10,000	水戸地区研修
中 央 活 動 費	70,000	100,000	△ 30,000	支部更新研修・普通救命講習
鹿 行 活 動 費	55,000	85,000	△ 30,000	支部講演研修・支部便り
県 南 活 動 費	50,000	40,000	10,000	県南地区研修・支部便り
県 西 活 動 費	50,000	70,000	△ 20,000	普通救命講習・スポーツ教室
5. 負 担 金	10,000	10,000	0	関東ブロックスポーツ指導者協議会
6. 雑 費	100,000	50,000	50,000	手数料等・発送作業等・その他
7. 予 備 費	70,000	50,000	20,000	関東プロ研修準備金及び準備委員会
合 計	1,840,000	1,740,000	100,000	

収入合計 1,840,000 円
支出合計 1,840,000 円
差引残金 0 円

※上記のとおりご提案いたします。

令和 2 年度 本協議会事業計画書

1、方針

- 1) 地域住民のスポーツ活動のニーズに対応して、生涯にわたるスポーツ活動への協力と支援を通じてスポーツ指導者の社会的地位向上に努める。
- 2) 資格保有者相互の親睦と連携に努めて、指導者として資質や指導力の向上を図り、スポーツ活動の推進に努める。
- 3) 公認スポーツ指導者が、本協議会に会員登録（新規入会・会員登録更新）の促進を積極的に推進する。
- 4) 地域総合型スポーツ活動への参画に努める。

2、目標

- 1) 本協議会の組織充実を図る。
 - ①本協議会の組織体制を図り、本部事務局及び支部組織の充実に努める。
 - ②市町村及び競技団体との連携・協調に努める。
 - ③有資格者の会員登録（新規入会及び更新入会）の促進を積極的に推進する。
- 2) 更新研修会（全県研修・地区研修）を開催して、資質と指導力の向上を図る。
- 3) 普及広報活動を充実させて、交流と情報交換を図る。
- 4) 公益財団法人茨城県体育協会及び市町村体育協会事業への協力体制を充実させる。
- 5) 競技団体との連携強化を図る。
- 6) 関東ブロックスポーツ指導者協議会の情報交換と連携協力する。

3、事業

- 1) 令和 2 年度公益財団法人茨城県体育協会事業協力
 - ①令和 2 年度茨城県スポーツ指導者研修会・全県研修

(1)期 日	令和 2 年 8 月 2 日（日）午前 9 時 30 分受付・10 時開会～午後 2 時 45 分閉会予定
(2)会 場	笠間市・友部公民館 三階大ホール
(3)参加料	会員 1,000 円・非会員 2,000 円
(4)参加定員	240 名
(5)主 管	研修委員会
(6)運営委員	20 名以内（本部役員・研修委員会・支部役員・総務委員・広報委員）及び茨城県体育協会 2 名
 - ②令和 2 年度茨城県スポーツ指導者研修会・水戸地区研修

(1)期 日	令和 2 年 9 月 6 日（日）午前 9 時 30 分受付・10 時開会～午後 2 時 45 分閉会予定
(2)会 場	水戸市・J A グループ茨城教育センター 二階大会議室（旧・茨城県農村研修館）
(3)参加料	会員 1,000 円・非会員 2,000 円
(4)参加定員	100 名
(5)主 管	水戸支部
(6)運営委員	20 名以内（本部役員・水戸支部役員）及び茨城県体育協会 2 名
 - ③令和 2 年度茨城県スポーツ指導者研修会・県南地区研修

(1)期 日	令和 2 年 11 月 8 日（日）午前 9 時 30 分受付・10 時開会～午後 2 時 45 分閉会予定
(2)会 場	阿見町・本郷ふれあいセンター 一階多目的ホール予定
(3)参加料	会員 1,000 円・非会員 2,000 円
(4)参加定員	300 名
(5)主 管	県南支部
(6)運営委員	20 名以内（本部役員・県南支部役員）及び茨城県体育協会 2 名
 - ④令和 2 年度茨城県スポーツ指導者研修会・県北地区研修

(1)期 日	令和 3 年 2 月 7 日（日）午前 9 時 30 分受付・10 時開会～午後 2 時 45 分閉会予定
(2)会 場	日立市・県北生涯学習センター 三階多目的ホール
(3)参加料	会員 1,000 円・非会員 2,000 円
(4)参加定員	100 名
(5)主 管	県北支部
(6)運営委員	20 名以内（本部役員・県北支部役員）及び茨城県体育協会 2 名
- 2) 令和 2 年度本協議会会報発行
 - ①会報第 81 号発行

(1)ページ数	8～10 ページ予定
(2)依頼日	6 月初旬予定
(3)依頼先	会長・茨城県体育協会（事業課長・担当主事）顧問・専門委員長・本協議会受賞者・事業計画書・収支予算書・事務局日より・支部日より・みんなの広場
(4)発行日	令和 2 年 9 月 15 日予定
(5)発行先	6 支部会員・県外会員及び新規入会会員
(6)発行数	1,600 部予定
 - ②会報第 82 号発行

(1)ページ数	8～10 ページ予定
(2)依頼日	1 月初旬予定
(3)依頼先	会長・茨城県体育協会（事務局長）・顧問・事務局長・専門委員長・日本スポーツ協会受賞者・事務局日より・支部日より・みんなの広場
(4)発行日	令和 3 年 3 月 15 日予定
(5)発行先	6 支部会員・県外会員及び新規入会会員
(6)発行数	1,600 部予定
- 3) 令和 2 年度関東ブロックスポーツ指導者協議会会議
 - ①令和 2 年度関東ブロックスポーツ指導者協議会宿泊研修会

(1)期 日	令和 2 年 10 月 日（日）～ 日（月）
(2)会 場	東京都・

- (3)参加者 若干名（照沼会長・鈴木副会長兼事務局長・大畠顧問・他若干名）
- (4)開催主管 東京都スポーツ指導者協議会

- ②令和 2 年度関東ブロックスポーツ指導者協議会役員会・会計監査

(1)期 日	令和 3 年 3 月下旬予定
(2)会 場	未定
(3)出席者	3 名（照沼会長・鈴木副会長兼事務局長・大畠顧問）

- ③令和 2 年度関東ブロックスポーツ指導者協議会総会

(1)期 日	令和 3 年 3 月下旬予定
(2)会 場	未定
(3)出席者	3 名（照沼会長・鈴木副会長兼事務局長・大畠顧問）

4) 令和 2 年度全国スポーツ指導者連絡会議

- ①令和 2 年度全国スポーツ指導者連絡会議全体会及び分科会

(1)期 日	令和 2 年 12 月 11 日（金）・午後 1 時開会～5 時閉会予定
(2)会 場	東京都・T K P ガーデンシティ渋谷予定
(3)出席者	2 名（照沼会長・鈴木副会長兼事務局長）予定

- ②令和 2 年度公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰

(1)期 日	令和 2 年 12 月 12 日（土）・午後 1 時開会～5 時閉会予定
(2)会 場	東京都・T K P ガーデンシティ品川予定
(3)受賞者	若干名（本協議会推薦者・競技団体推薦・市町村推薦）

- ③令和 2 年度公認スポーツ指導者全国研修会

(1)期 日	令和 2 年 12 月 12 日（土）・午後 1 時開会～5 時閉会予定
(2)会 場	東京都・T K P ガーデンシティ品川予定
(3)出席者	若干名（参加希望者及び受賞者）

5) 令和 2 年度公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰推薦者

- (1)県北支部・阿部幸江様（永年表彰）・高松淑子様（永年表彰）
- (2)水戸支部・推薦者なし
- (3)中央支部・推薦者なし
- (4)鹿行支部・推薦者なし
- (5)県南支部・推薦者なし
- (6)県西支部・推薦者なし
- (7)常任理事会・小松崎一郎様（永年表彰）

6) 令和 2 年度茨城県スポーツ指導者協議会表彰推薦者（功労賞・感謝状）

- (1)県北支部・推薦者なし
- (2)水戸支部・推薦者なし
- (3)中央支部・推薦者なし
- (4)鹿行支部・推薦者なし
- (5)県南支部・推薦者なし
- (6)県西支部・推薦者なし

7) 令和 2 年度本協議会各種会議等開催計画

- ①会計監査

期 日	令和 2 年 4 月 4 日（土）
会 場	古河市・下大野コミュニティーセンター和室
- ②総 会

期 日	令和 2 年 4 月 29 日（火）祝日予定
会 場	笠間市・友部公民館 二階小会議室予定
- ③常任理事会

期 日	3 回計画／年『9 月 22 日（火）祝日・令和 3 年 2 月 11 日（木）祝日』予定 令和 3 年 3 月 20 日（土）祝日』
会 場	笠間市・友部公民館 二階小会議室予定
- ④理 事 会

期 日	2 回計画／年『4 月 18 日（土）・令和 3 年 2 月 23 日（火）祝日』予定
会 場	笠間市・友部公民館 二階小会議室予定
- ⑤専門委員会

(1)総務委員会	期 日	2 回計画／年（9 月 22 日（火）祝日・令和 3 年 2 月 11 日（木）祝日）
	会 場	水戸市・内原市民センター 二階会議室 2 予定
(2)研修委員会	期 日	3 回計画／年（5 月 21 日（木）・7 月 21 日（火）・8 月 12 日（水））
	会 場	水戸市・茨城県水戸生涯学習センター分館二階会議室予定
(3)広報委員会	期 日	2 回計画／年（8 月 12 日（水）・令和 3 年 2 月 23 日（火）祝日）
	会 場	水戸市・茨城県水戸生涯学習センター分館二階会議室予定（R2. 8. 12）
	会 場	水戸市・内原市民センター二階多目的ルーム予定（R3. 2. 23）
(4)事務局会議	期 日	2 回計画／年（9 月 22 日（火）祝日・令和 3 年 2 月 11 日（木）祝日）
	会 場	笠間市・友部公民館 二階小会議室予定

支部だより

県北支部

支部長

梅村 恒雄

五月十七日(日)午前十時から、日立市女性センターに於いて茨城県スポーツ指導者協議会県北支部の令和二年度の総会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大対策として「緊急事態宣言」が出され、各種公共施設が利用停止となり、会場手配が困難となりました。

また、3密を避けることから、一堂に会しての会議は、自粛すべきと判断し、苦渋の決断で中止とし、書面提案による総会としました。

茨城県スポーツ指導者協議会総会も、同様の理由で中止し、「書面」による決議をいたしましたので、県北支部も県本部に倣い同様の承認決議をいたしました。

具体的には、①支部総会の開催中止による書面承認報告書のご依頼書②総会資料一式③書面承認報告書の三点を総会出席回答者に郵送し、「承認」の可否報告を頂きました。

「書面報告書」結果は、会員数百五十七名中、委任七十三名、承認十九名、不承認0名、回答なし

六十五名の結果により支部規約第十五条により議案は承認されました。

会員各位の皆さまには今回の特例対応に特段のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

令和二年度事業計画(案)は
定例役員会

毎月 第一月曜日

広報発行

八月 五十六号

三月 五十七号

地区研修会

二月

近隣市町村への運営協力

四月 日立さくらロード助成

十月 センターまつり助成

等を予定しております。

今年度の行事では新型コロナウイルス感染症拡大対策で日立さくらロードレースが中止となり残念でしたが、緊急事態宣言も緩和され、スポーツ施設も徐々に復旧されつつあり、利用制限はあるもののスポーツをする側にも明るい兆しが見えてきましたので、スポーツを通して「笑顔と元気」を一日も早く取り戻したいと願っています。

県北支部では支部役員交流会を開催し、役員同士の交流も深めております。そして、常に指導者として個々のレベルアップを図るために新しい知識、情報を得る事は

研修会への参加が一番と考え、研修会の開催を第一義に取り組んでいます。会員各位の積極的な研修会への参加と協議会への提案を強く切望致します。

最後になりましたが、新型コロナウイルスとうまく付き合いなから、ピンチをチャンスに、逆境の時こそひらめきやチャンスがあると信じて課題を見つけ努力の継続を心掛けましょう。

水戸支部

支部長

吉田 広光

令和二年二月に入り新型コロナウイルスの感染者が多く、日本全国に感染拡大が止まらない時期が来た。茨城県スポーツ指導者協議会の事業の一つ、水戸支部総会四月二十九日の水戸市民センターで開催予定をしたが、水戸市から中止要請を受け協議会も苦渋の決断をし、本年の研修会は特例で対応する事にさせて頂きました。残念です。

令和二年度の研修を県では四地区で予定しており、水戸支部の研修は本年九月六日資格更新研修会でもあり、JAGグループ茨城教育センターで開催予定であります。

コロナウイルスの感染者が多いため感染防止の中での研修会や競技スポーツ活動再開のために、今

後のスポーツ活動に益々精進され、皆様が活躍される様願っております。

来年に延期された東京オリンピック開催を機に、新たなスポーツ指導者として、更なる活躍を期待したいものです。茨城県スポーツ指導者協議会水戸支部の、これからの取り巻く姿を見て欲しいと思っております。

中央支部

事務局長

野々村 律子

令和二年度に向けて、例年の通り、茨城県指導者協議会、中央支部として準備を進めておりましたところ新型コロナウイルスと言う前代未聞の禍に、年度当初より巻き込まれました。

令和二年四月四日(土)にひたちなか市松戸体育館に於いて、開催予定の令和二年度茨城スポーツ指導者協議会中央支部総会を開催予定でしたが、書面総会という形で乗り切りました。

六月六日開催予定の令和二年度、中央支部、救急救命講習会は、会場の都合で中止となりました。

八月十日(月)に中央支部研修会を、笠松運動公園陸上競技場会議室で開催しました。三密にならない様に講師の方々、受講者を守るべく、心を配るようにと指導を受け、いばらきアマビエ使用の実

施、普及、入場時体温測定、健康チェックシート記入。距離を置いての待機。受講者保護の機間隔、万が一の時の為の座席指定、書類作成、役員関係者、講師へのために、フェイスシールド、手袋用意、机上仕切り板、手渡し厳禁の徹底、順次移動の徹底。短時間しかない間に、関係者の努力が実り、当日はスムーズな運営が出来、予定通り終了出来ました。

研修会の内容としては、講演Ⅰ 藤枝昇先生のトレーニングの科学呼吸のトレーニング。大塚製薬(株)さんからのコロナに加えて心配される熱中症の資料配布。講演Ⅱ、照沼一美氏の指導者としての講話拝聴しました。研究協議には、中央支部独自の活動としての会員の皆さんの仲間に知らせたい知識、情報をと思い、今年度はソフボール指導者ひたちなか市永瀬裕啓氏による足と健康(未病改善)、子供の足と体が危ない!として講演をお願い致しました。

自粛時期の今、出来る事を、出来る範囲で良い時を過ごせるよう考えて行きたいと思っております。収束の見えないこの頃ですが、いろんな情報を駆使して、次のステップへの意識を忘れず、進みたいものと思っています。



鹿行支部

副支部長

君和田 治也

令和二年に入り、新型コロナウイルス感染症対策を各スポーツ関係者が試行錯誤をしながら行動していると思います。昨年末には想像もしない状況になりました。

各人に置かれましては三密を避ける様子を配り、コロナにかからない、移さない為のマスク着装や手洗い・消毒を実践して生活していかねばならないと思います。

なかなか、外に出て活動が出来ない状況でテレビを見る事が多くなり、この頃は半沢直樹のテレビドラマを楽しみに見るようになっています。毎回ともでもない問題が起こり、その問題を倍返しにする覚悟で証拠を準備して解決するところと、相手にはつきり物申すところがすごいなと思いつつながら楽しみに見えています。

もう一つ、出口治明さん(ライフネット生命保険創立者の一人・立命館アジア太平洋大学で学長)の名言や講演をネットなどで見えています。未来のことは誰もわからない今を精一杯挑戦する。体を動かしていつまでも元気で働く(社会貢献する)。生き残るためには状況の変化にいち早く適応したもののだけが生き残る。等いろいろ

な名言や考え方があるのだと思います。検索し楽しんでいきます。

今、コロナで思うままにならない時代だからこそ「風が吹いたときに風を上げる」そのための準備をすることが必要だと思います。各スポーツ指導者の皆さんコロナにかからないよう今できることを確実にやっていきましょう。

県南支部

支部長

櫻井 孝之

令和二年はコロナ禍と豪雨災害冷夏と、スポーツ界にも今迄に無い試練の日々が継続しております色々な制約の状況下で、皆様方も御苦労と悩みが尽きないと推察しております。

今年度はスポーツ指導者の資格改革(スポーツ少年団)の初年度に当たり、スポーツ指導者研修会も、一段と変革していくはずでしたが、コロナ禍の中、制約が影響し受講者制限をお願いしております。十一月八日の県南地区研修会も八十名の定員でメットとなりました。受講できなかった方は、資格更新の救済制度が各競技により猶予方法が違いますので、日本スポーツ協会HPの指導者登録にアクセスして確認して下さい。JSPOTS指導者登録証の発行登録をして頂くと、日本スポーツ協会からのメールで情報提供があります

ので便利かと思えます。

最近NHK奇跡レッスンでテニスとソフトボールの放送がありました。少年少女のスポーツ指導者の方には、大変参考になる番組でした。コーチへの名称変更がなされ指導法を新たに見直すきっかけにするために、コーチングの在り方を考察する上で、大変勉強になりました。

コロナ対策には充分留意し、スポーツが楽しく出来る日常が、戻る日を待ち望んでおります。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

県西支部

事務局長

近藤 康雄

茨城県スポーツ指導者協議会、年二回発行の会報で八月発行の八十一号は例年は県西支部総会の報告等を掲載しておりました。

令和二年度県西支部役員会を二月二日に実施し、本年度の計画等を相談し決定しましたが会員の皆様がご存知の様に新型コロナウイルス感染症拡大の影響で指導者協議会本部総会も中止となりました。県西支部としては令和二年五月十七日(日)下妻市千代川公民館で支部総会及びAED普通救命講習を実施予定でしたが全国でコロナウイルスの緊急事態宣言が発信された事もあり中止といたしました。

県西支部の会員百七十九名に令和元年度の事業報告、決算報告、監査報告書、令和二年度の事業計画、予算及び令和二年九月に県西支部スポーツ教室実施の内容を記載し郵送しました。県西支部令和元年度の事業報告、決算報告の承認令和二年度の事業計画、予算要求案の承認についてハガキに印刷し〇印を記入して頂く様同封いたしました。

スポーツ教室実施の参加、不参加についても〇印を記入して頂き合計百四十三名から返送して頂きました。回収率は八十%でした。

尚、スポーツ教室参加希望者は二十四名でした。七月三十日現在、新型コロナウイルス感染の状況は第二波ともとれる状況が東京を初め大阪、愛知等陽性確定者が過去最高を更新している状況です。県西支部としては九月二十七日(日)にスポーツ教室を開催するか中止するか現在、思案中です。スポーツ教室の内容は昨年茨城国体で公開競技として古河で実施した「つなひき競技」を予定しています。国で言われている「三密」がそのままではあります。

私も古河市スポーツ推進委員の一委員として活動しておりますがスポーツ推進委員会の年間行事も今年の四月からは全て中止となっております。秋口の三地区運動会十月十一日三和地区十月十八日古

河地区十一月総和地区も全て中止になりました。このままで行くと来年のサンスポはなにもマラソンも二年連続で開催が危ぶまれます。来年の東京オリンピックも難しいかな？新型コロナウイルスが早急に終息し平穏な生活が来ることを願うばかりです。

みんなの広場

● 広報委員 (筑西市)

大竹 幹 夫

いきいき茨城ゆめ国体筑西市剣道競技会が令和元年九月二十九日から三日間開催され、少年男女。成年男女。総合とすべて茨城県が優勝の栄冠に輝き、会場が大いに盛り上がり、喜び感動したことを思い出されます。

令和二年に変わって、新型コロナウイルス感染への観点から活動の自粛を余儀なくされ、体育施設(学校開放)や公民館・公共施設が完全に閉鎖されました。又、公園も使用禁止となり、各種スポーツ大会は中止、イベント・レクリエーション・健康づくり等の活動すべてが出来ずに三密を守り、ほとんどが紙面総会となり、この頃やっと施設も開放されてきました。

スポーツ推進委員会や総合型地域スポーツクラブ・健康づくり友

の会等に携わっておりますが、新型コロナウイルス禍において、感染症への対応策を考慮しながらばちばちと動き出しましたが、三密を避けるためには活動にも制限があり、又社会の在り方も以前とは違って生活環境が大きく変わり、元に戻れない部分も発生して経済の見通しもわからない中ではありますが、コロナの収束を願いながらスポーツ指導者として、地域の方々の健康や絆を大切に交流を深めて新たな取組をして行かなければと思っております。

しかし、如何様にすればこの機会から抜け出してスポーツ社会の実現を見出せるのか思索しておりますので、皆様のご指導を頂きながら住み良い地域づくりに邁進して参りたいと思います。

● 広報委員・庶務(境町)

関 根 あさ子

新型コロナウイルス感染が拡大する中、令和二年度事業計画については、総会や理事会が開催できず、新事業や予算等が書面にて審議され可決されました。

茨城県スポーツ指導者協議会では、このコロナ禍の中、協議を行うために三蜜・マスク着用・アルコール消毒等を徹底し、会場等を確保し審議してまいりました。

その結果、今年度は茨城県スポーツ指導者研修会の開催を四回(全

県・水戸地区・県南地区・県北地区)開催することといたしました。なお、今後のコロナ禍では開催が出来ない場合もあるかと思いますが、極力開催する方向で進める方針です。

茨城県スポーツ指導者協議会の事業は、年度初め総会の資料作成(各支部及び本部の事業計画・収支予算等の報告確認)また、年二回会報を発行しています。広報委員会より、原稿執筆をお願いし、校正・印刷して発送して送ります。なお会報は会員の方のみです。

また、指導者協議会では日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格(有効期間は四年間)登録者に資格更新開催要項を毎年発送しております。今年度は、開催時期・会場の選定など、新型コロナウイルス感染防止に徹底した対策を検討し決定いたしました。

茨城県スポーツ指導者の登録数は三千百七十三名で、そのうち会員が一千三百六十七名であり、約四十三%の方が会員登録して頂いております。これを機会に、協議会の活動を理解して頂き、非会員の方はぜひ会員に登録していただきますようお願い致します。

最後に、早くコロナが終息する事を願いながら、有資格指導者の皆さん、どうぞご自愛ください。

事務局からの お知らせ

会員の皆様に住所変更及び改正等がありましたら、本協議会事務局にご連絡をお願いします。

●連絡先

〒三〇六―〇二〇四
茨城県古河市下大野

事務局長 鈴木 義夫
一四六三一四

TEL・FAX
〇二八〇―九二一四五五

協議会事務局便り

●令和2年度全県研修会・地区研修会は、下記の通りにコロナ感染防止するため参加申込み先着順で受付を締め切りました。

なお、締め切り後に参加申込みされた方にキャンセル要請にご協力された**70名の方々**は、次年度の研修会に参加申込みを優先的に受付をいたします。

(1)全県研修会

日 時 令和2年8月2日(日) 実施終了

会 場 水戸市・J A グループ茨城教育センターに変更

受講者 63名

(2)水戸地区研修会

日 時 令和2年9月6日(日) 実施終了

会 場 水戸市・J A グループ茨城教育センター

受講者 60名

(3)県南地区研修会

日 時 令和2年11月8日(日)

会 場 阿見町・本郷ふれあいセンター

参加者 50名先着順制限・県外者除外

(4)県北地区研修会

日 時 令和3年2月7日(日)

会 場 日立市・県北生涯学習センター

参加者 50名先着順制限

●本協議会研修会のコロナ対策ガイドラインを制定

このガイドラインは、令和2年度全県研修会に参加者、運営委員、茨城県体育協会のご協力を得て制定しました。今後の地区研修会は、コロナ対策ガイドラインの実施に、会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

★ガイドライン 15 項目★

- (1)施設の出入り口にアルコール消毒液を用意する。
- (2)研修会の関係者はマスクを着用する。
- (3)研修会の関係者は非接触体温測定を行なう。
- (4)研修会の関係者は健康チェックシートに記入する。
- (5)参加者は通路に表示した通路線で1.2m以上間隔に並んで受付する。
- (6)受付用の机1台に1名でゴム手袋して受付する。
- (7)参加者は受付後に指定した機の席番号に着席する。
- (8)講演の窓及び出入り口は開放状態にする。
- (9)机に2名着席は中央に透明仕切り板を設置する。
- (10)ホール座席の1か所空席に透明仕切り板を設置する。
- (11)検温担当・問診担当・受付担当・司会進行・講師はフェイスシールドを着用する。
- (12)マイクは、司会用と挨拶用の専用にして除菌する。
- (13)着席前、昼休み休憩、退席後に、机の上を除菌する。
- (14)閉会式後に修了証、カードの配布及びフェアプレイ宣言アンケート用紙は、受付係が参加者の席に行って回収した後に参加者の退席を誘導する。
- (15)主催者はいばらきアマビエちゃんを登録する。

☆茨城県スポーツ指導者協議会連絡先

茨城県スポーツ指導者協議会

〒306-0204 茨城県古河市下大野 1463-4

TEL 0280-92-4555 FAX 0280-92-4555

担当・事務局 鈴木事務局長

《会報八十号の誤記訂正》

前回の会報八十号、三ページの掲載事項で、体育協会専務理事根本様の写真を間違っ
て掲載してしまいました。大変
申し訳ございませんでした。大
関係者各位に御迷惑をおか
しました事にお詫びいたし
ます。

訂正後



根本 聡

編集後記

第八十一号会報の発行に当たり、皆様に原稿執筆を賜り心から感謝申し上げます。
ご愛読をいただけるよう努力してまいりますので、皆様の忌憚のないご意見をお寄せ頂きたいと想います。

次回の会報八十二号発行
令和三年三月十五日予定

広報委員会

広報委員長

君和田治也 (鹿行支部)

広報副委員長

高野 照代 (鹿行支部)

広報委員

佐藤 マツ (県北支部)

黒沢 勝秀 (中央支部)

櫻井 孝之 (県南支部)

大竹 幹夫 (県西支部)

関根あさ子 (事務局)

鈴木 義夫 (事務局長)